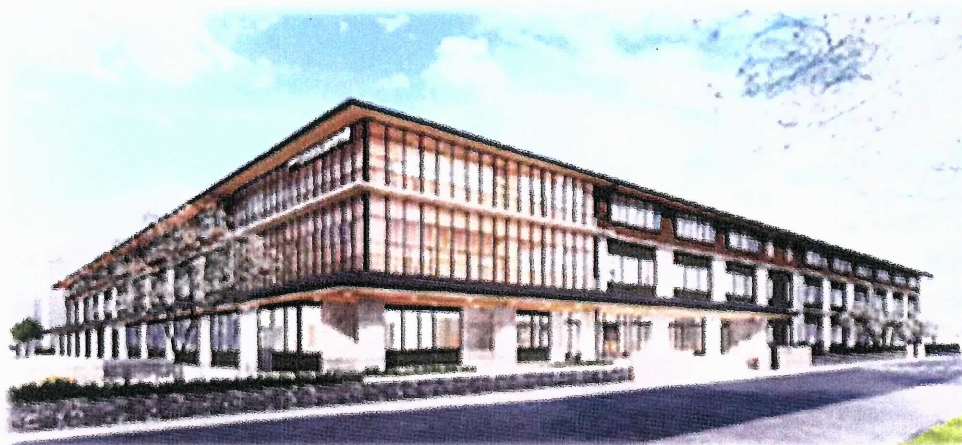


京の東の麓から 新風が吹く

学びの力で

未来を変える

次代の創り手が育つ学校



目指すのは「**エージェンシー**」の育み

それは自分の未来を自分で切り拓き、社会のために役立つ人となること。

つまり持続可能なウェルビーイングな社会の創り手となること。

醍醐地域の新しい教育拠点として、

子どもたちを中心に地域活性に貢献します。

未来を拓き、社会で活躍する、新たな学びの場が誕生します。

*エージェンシーとは :より良い社会・自己の実現を目指し、自ら考え、責任をもって
主体的に行動する能力

*ウェルビーイングとは:身体的・精神的・社会的に持続的で良好な満たされた状態

「**栄 桜 小中学校**」 令和 7 年<2025 年>4月開校(予定)
えい おう

小栗栖中学校ブロック(小栗栖小・小栗栖宮山小・石田小・小栗栖中)統合

【小中一貫教育校（義務教育学校）設置の目的】

小学校 6 年・中学校 3 年の 9 年間に、子どもたちは心身ともに大きく成長します。これまでの小学校と中学校の節目に生じる課題を軽減し、子どもたちの成長を支えるために、小中一貫教育校（義務教育学校）として、充実した学び、新しい学びを展開します。

- ① 中学校での学習内容の難化、教科担任制、人間関係の変化等による、新しい環境への不適応、いわゆる“中1ギャップ”を解消し、中学校段階への接続を円滑にします。
- ② 固定化された人間関係を解消し、多くの仲間とのつながりを作ります。
- ③ より多くの多様な教職員が児童生徒に関わり、充実した支援体制を構築します。
- ④ 連続性と系統性のある教育活動を行い、子どもの学力や学習意欲の向上を図ります。
- ⑤ 様々な人との交流を通じたキャリア教育や道徳教育の充実を図ることを通して、郷土愛を育み、豊かな人間性や市民性を醸成し、地域を担う存在として自覚を高めます。

校 是

「 共 創 」

OECD（経済協力開発機構）がラーニング・コンパス「学びの羅針盤」2030の中で、目標として掲げる「新たな価値を創造する力」「責任ある行動をとる力」「対立やジレンマを克服する力」にも対応した本校独自の教育精神です。

学校教育目標

「 未来を創る花が咲く 」

校是「共創」のもと、対話をはじめとする協働的な活動に重点を置き、授業、学校行事等を通して学校教育目標の達成を目指します。未来を切り拓き、持続可能なウェルビーイングな社会の創り手として、自ら考え、責任をもって主体的に行動する能力（エージェンシー）を獲得していきます。

目指す子ども像

・最後までやり抜く子ども

＜自分を見つめ、目標に向かって努力を続ける＞【発見】

・人とつながり支え合う子ども

＜仲間を認め大切にし、高め合う＞【協力】

・社会と向き合い探究する子ども

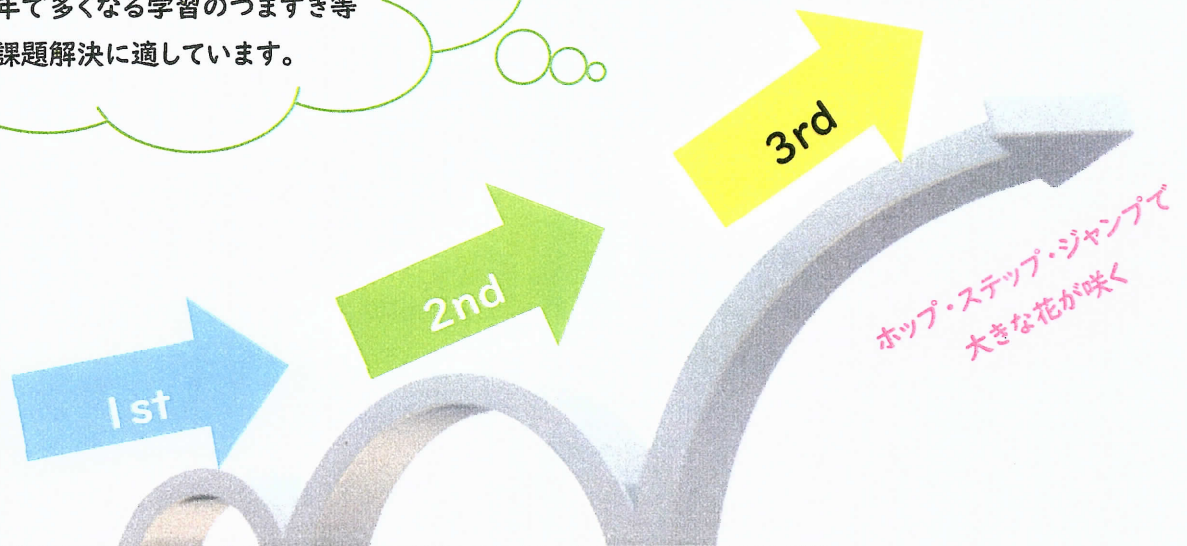
＜問題と向き合い、解決策をつくり出す＞【チャレンジ】

4－3－2制の9年制「義務教育学校」

これまでの小6・中3制から、「義務教育学校」として、9年間を通して、

小中学生が共に学ぶ、新しい施設一体型の小中一貫教育校になります。

4・3・2制は、小学校高学年段階の身体的発達の早期化、小学校5年で多くなる学習のつまづき等の課題解決に適しています。



1st (4年) → 2nd (3年) → 3rd (2年) の3段階のステージ

学びの基礎の習得

学ぶ楽しさを知り、学び方や学習規律、基本的な生活習慣、礼儀作法等を身につける

1年

2年

3年

4年

学びの活用と発展

学びの基礎・基本を基盤に、意欲・関心を高め、生活に活用する力を身につける

5年

6年

7年

自己実現と創造

協働的に学びを深め、新たな課題に向かい、未来に、そして進路実現につなげる

8年

9年

チーム・教科

担当制

専科・教科担当制に段階を追って移行

完全教科

担当制



◇新しい生活スタイル

○標準服・通学帽

子どもたちや保護者の皆様の意見を受け決定した標準服は、5年生から着用します。
2nd・3rdステージ(5年生～9年生)が、ジャケット型の洗練されたデザインの標準服を着用して通学します。また、1stステージは、新たにデザインされた通学帽を着用します。
新しい標準服・通学帽に愛着をもっていいただければと思います。



○全員給食制(自校調理給食)

施設内の給食調理室を活用し、1年生～9年生の全学年で、自校調理方式の全員給食を実施します。栄養バランスのとれた温かい給食で、子どもたちの学びをサポートします。



◇新しい学習スタイル

○チーム・教科担当制

1stステージから、前期課程(小学校)と後期課程(中学校)を円滑につなぐために、段階的に中学校課程の教科担当制を取り入れていきます。



○見えない学力を育てる教育活動

点数で測ることのできない学力として、“非認知能力”と呼ばれる能力を育てる活動を積極的に取り入れます。教科の学習だけでなく、学級活動や児童会生徒会活動において、縦割りの異年齢集団での活動や、地域の皆様にも参画していただく活動を行い、子どもたちの豊かな人間性を醸成していきます。

*「非認知能力」とは、「目標を決めて取り組む」「意欲を見せる」「新しい発想をする」「周りの人と円滑なコミュニケーションをとる」といった力のことで、子どもが人生を豊かにする上でとても大切な能力です。



◇生活と学習をつなぐ新しいサイクル

○生活設計する力を身につける教育活動

手帳等を活用し、自らの生活に見通しをもち、行動し、振り返るサイクルを通し、自分自身を調整する力を身につけます。



○メタ認知を促す家庭学習

*メタ認知…自身を客観的に把握し制御する力

宿題をするだけの家庭学習から、自分の状況を理解し、自分の課題や興味・関心に応じて、自分に合った学びを進める家庭学習の習慣を身につけます。

桜でのスクールライフは、“新しい”がいっぱいです!